

白鳥ホームの目指すもの



施設長 川邊 智

白鳥ホームは「地域とともに明るく豊かな生活をめざして」を理念として掲げています。つまり、利用者の基本的人権を保障し主体的な自己実現の支援をすること、その豊かな生活の実現を目指しています。

しかし、個々のニーズは多岐にわたっています。それらに対応するためには施設内サービスだけではなく、地域におけるネットワークを構築し総合的な福祉サービスを提供しなければなりません。さらに公益的視点から、そのサービス対象は施設利用者に留まらず、地域の住民も含めた地域全体が明るく豊かな生活ができるように、当施設が地域から必要とされる社会資源の一つとして機能することを目指しています。

これらの実現のため、白鳥ホームを中心として「地域活動支援センター」「障害者用グループホーム」の運営、さらに公益的な活動として地域の生活困窮者の支援事業を展開していきます。



白鳥ホーム

理念

「地域とともに明るく豊かな生活をめざして」

基本方針

- 1 利用者の基本的人権を保障し、主体性を尊重した自己実現の支援をする。
 - (1) 利用者を独立した人格として尊重し、人権の擁護に最大限努める。
 - (2) 利用者が主体的に自己実現を図れるよう、できる限り支援する。
- 2 利用者の多様なニーズに対する福祉サービスを総合的に提供する。
 - (1) 利用者の個々の生活に対応したサービスを提供する。
 - (2) ノーマライゼーションの考え方を踏まえ、「ともに生きる」ための生活環境を構築する。
- 3 地域の社会資源におけるネットワークを構築し、地域に根ざした施設を目指す。
 - (1) 他法、他機関を含めた地域の社会資源とのネットワークを活用し、利用者・地域住民のニーズに応じた支援を提供する。
 - (2) 施設が地域の社会資源として機能する事を目指す。
- 4 よりよい支援を行うには、職員の高いモラルと職務に対する専門性が不可欠であることから、職員は常に自己研鑽に励む。
 - (1) 職場内研修を意欲的に実施し職場外研修にも積極的に参加する。
 - (2) 各業務に役立つ専門資格を取得できるよう、職場として支援する。